

令和3年度 橋立小学校1年間のふり返り

学校教育目標

「心豊かにたくましく 自らの生き方を創造する 児童生徒の育成」

学校経営目標

- (1)授業改善のために主体的に研究・研鑽し、確かな学力の向上に努める。
- (2)温かで優しい心を育成し、互いの良さを認め合える人間関係づくりに努める。
- (3)基本的生活習慣を身につけ、健やかな体の育成に努める。
- (4)小中併設校の特色を生かした連携の取組を深め、学校・家庭・地域との連携に努める。
- (5)組織的・機能的な学校運営に努める。

令和4年3月発行
校長 紙井 かおる

橋立っ子

評価の項目	今年度の重点目標	成果と課題	今後の改善策
①教育課程・学習指導	基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図り、学力向上をめざす。	学年相当の漢字・計算の定着力は70%以上のB評価で、一昨年より下回っている。既習の漢字・計算力の定着を含めて抜本的な改善が必要。	全体のパーセンテージはクリアしているが、学習集団による結果のばらつきが見られ課題が残った。地道な取り組みを見直し、ルーティンを確認していく。
	学習習慣の確立に努め、主体的な学習態度を育てる。	自学ノートの工夫はかなりされてきているが、何をしたらよいのか解らない児童への支援と、そもそも何のための自主学習なのか、その内容と質はどのようなものであるべきかを再確認する必要がある。	ノート整理はしっかりとされているが、各教科の系統的なノートづくりが今後の課題になる。各教科、学年でのノートを次学年にどうつなげていくか精査していく。
②生徒指導 ※いじめの未然防止	学校全体でいじめの未然防止に努め、いじめのない学校づくりを推進する。	友達関係などで悩んだときに相談できる児童は約9割いる。日頃から児童や保護者との関わり方を意識してきた結果だと言える。しかし、学年によっては相談できない児童が数名いるので、特にその児童たちに気を配っていく必要がある。	いじめアンケートやQU調査だけに頼らず、日ごろから子供と触れ合い、本音を話せる学級経営を行うとともに、全教職員で子どもを育てていこうという教師側の意思を統一して指導にあたっていく。未然防止の指導法を学習していく。
	明るく、自分からあいさつができる子どもたちを育てる。	「だいたいあいさつができる」と回答した教員がほとんどであったが、児童は83%であった。児童よりも教員の方が高い評価をしている。あいさつについて意識のずれがある。	教職員の評価は高いが、児童の中には「心をこめたあいさつができていない」と考える児童が低学年に15%いる。あいさつは「心と心をつなぐ言葉」という意識をもって、子どもと触れ合い、教師自ら実践し見本となる姿勢を見せていきたい。
③キャリア教育・進路指導	自己理解、自己管理能力を意識したキャリア教育を推進する。	学校行事等が児童の成長と将来の姿につながっていると全教職員が感じている。	振り返りの学習を自己の将来を結びつけながら、これからの学習に生かす視点を各教科に盛り込んでいくことが課題。
④保健管理	自ら進んで、健康なからだをつくろうとする態度を育てる。	休み時間後、給食準備前などの手洗いがしっかりできていた。基本的生活習慣が身につく、清潔な学校生活が心がけられているといえる。アンケートでは、86%の児童が5日間全部手洗いができていた。	登下校時や活動後の手洗いの声掛けを続けたことで、手洗いや消毒の意識が高まり、清潔な生活を心がけることができていた。今後は元気づけ週間の取り組みを軸に、メディア利用や睡眠時間についての取り組むを進めるようにする。
⑤安全指導	安全教育を推進し、職員の危機管理意識と危機対応能力を高める。	シェイクアウト訓練で地震の時の身の守り方を指導することができた。また、大型寺警察署の方を招聘して小中合同の不審者対応の避難訓練をすることで、時と場合に応じた避難経路の確認をすることができた。一部の教職員だけであったが、刺す股の効果的な使い方を教えてもらうこともできた。	PTAと連携した交通安全教室、まちづくりと連携した救急救命講習会、小中合同の防犯教室や避難訓練を行うことができ、危機管理能力や意識が高まった。今後、コロナ対応に関する研修やコロナ禍の中での避難訓練を計画的に実施していく。
⑥特別支援教育	児童についての理解を深め、それぞれの児童の困り感が減るように支援していく。	必要に応じて校内支援委員会を開き、今後の支援が必要な児童について話し合うことができた。また、専門相談も活用して特別支援学校の先生にみてもらい、支援が必要な児童に対する支援方法を検討することができた。	児童の現状を把握し、保護者と連携したり、専門相談を利用したりしながら、よりよい支援を考えて実践してきた。最適な支援ができるように、今後も児童の実態や気づき表等をもとに全教職員で共有しサポートしていきたい。
⑦組織運営・業務改善	業務の平準化をめざす。	行事に関しては、関係する教職員で協力して取り組む体制ができてきている。業務改善の意識は高まってきているが、まだ勤務時間が70時間を超える教職員もいる。	コロナ禍で行事の内容の見直しを行ったことで、業務の負担が減ってきている。今後も定期的に3部会や職員会議を通じて業務や行事の精選を行い、適切に業務を分担し、児童の教育活動が充実したものとなるようにする。
⑧研修	「読む力」を高める授業づくりを研究する。	研究授業の単元を「読む」単元から「話す聞く」単元に移行したばかりで、まだ手探り状態であり、1学期は聞く力を高めるための手立てが提案できなかった。研究授業でできた改善策は、職員全体で共有し、今後の実践としていくことを共通理解できた。	2学期に取り組んだ「聞くこと共通実践」や「話す聞くトレーニング」(朝のスキルタイム)で、教員の児童への聞く指導の意識は変わった。学年ごとにつけなければいけない力を系統立てて、教員と児童が共通理解して取り組むようにしたい。
	計画的なOJTと若手層にとって有効な研修を実施し、人材育成を目指す。	計画的に行われたものと、そうでないものがあったが、教職員間のよき学びの場となった研修が多くみられた。	OJTや定期に行われる研修は計画的に行われていて、組織的な体制づくりはできあがっているが、より実践的な指導技術や手法の継承を個々に応じて行うことが課題。お互いのニーズを共有することで前進させたい。
⑨保護者、地域との連携	地域の人材を活用した教育活動を推進する。	保護者95.7%、教職員83.3%となった。コロナ禍ではあったが、高学年を中心に感染対策をしながら地域の方をお呼びしての田植え稲刈り、赤ちゃんふれあい体験活動などを行うことができた。また、社会科見学、生活科の探検なども行うことができた。しかし、学年によって偏りがある。年間カリキュラムをもとに効果的な活用をしていく必要がある。	児童が地域の施設や人材を活用することができるようになってきている。地域人材リストを作り、様々な教育活動で積極的に活用することで、児童の教育効果を高めていきたい。
⑩教育環境整備	ICT機器を活用し、児童が意欲的に活動できる教育環境の整備と教職員の業務改善を推進する。	教職員全員がデジタル機器を活用した授業を行うことができた。また、3～6年生は、夏休み中にchromebookを活用したMeetを行うこともできた。しかし、1・2年生にchromebookが行き渡っていないので指導にばらつきが出てしまう。	授業の中で、学年に応じたICT機器の活用が計画的に行われるようになってきた。情報モラル教育や時間を指定して使用するなどの対策のもとICT機器を活用していく必要がある。

保護者の皆様の「アンケート結果」、児童の「アンケート結果」、教職員の「アンケート結果」をもとに、令和3年度の橋立小学校の学校経営目標の達成状況について検証しました。

また、その検証結果を学校評議員に報告し、評価していただきました。

橋立小学校の教育活動は、保護者の皆様、地域の皆様のご理解やご協力があったからこそよりよいものになると考えております。いただいた評価やご意見をもとに、できる限り改善に努め、教職員一同力を合わせて橋立の子どもたちのために頑張っていきたいと思いますので、どうぞご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

学校関係者評価 (学校評議員の皆様からのご指導やご助言)

・コロナ禍で先生方も大変だと思う。保護者の思いを反映させていくためにもアンケートの内容を吟味して、学校教育に生かしてほしい。また、先生方の思いや考えにずれが生じないように保護者や地域にしっかりと伝わるようにして子ども達を育ててほしい。

・家庭と連携して、当たり前のことを当たり前にできる基本的な力を小学校の低学年のうちからしっかり身につけてほしい。

・カニ給食は、1年と6年が一緒に食べるとか縦割り掃除等、上の学年から下の学年が学ぶということが自然とできる環境になるように今まで以上に縦割り活動の工夫をしてほしい。

・キャリア教育のキャリアパスポートには、子どもの成長の足跡が分かるように長いスパンで具体的な取り組みをしてほしい。

・ICTの活用により、より教育現場が忙しくなっているように思う。若手の教員のICTスキルを活かすことで、先生方の負担が少しでも減ることを望んでいる。また、ベテラン層と若手層の先生方のそれぞれの良さを生かして橋立の教育がよりよくなってほしい。



見守り隊の方への感謝の会



6年生を送る会



児童・保護者アンケート

- A ☐ そう思う
B ☐ どちらかというと思う
C ☐ どちらかというと思わない
D ☐ そう思わない

児童アンケート、保護者アンケートのそれぞれの第1回（1学期）と第2回（2学期）の結果を比較しました。
左から「そう思う」「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」「そう思わない」の順になっています。

令和3年度 橋立小学校 学校評価（児童・保護者アンケート）

1	学校に行くのは楽しいと思いますか	児童	1学期	
			2学期	
2	授業中に自分の考えをいろいろな方法で表現するようにしていますか	児童	1学期	
			2学期	
3	まわりの人に親切にしたり、優しくしたりしていますか	児童	1学期	
			2学期	
4	自分にはよいところがあると思いますか	児童	1学期	
			2学期	
5	平日に家でどのくらい勉強していますか (左から「学年×10分」以上・「学年×10分」・「学年×10分÷2」・「学年×10分÷2」以下)	児童	1学期	
			2学期	
6	学校の学習活動で、どのくらいICTを活用しましたか。「4・5・6年のみ」（左から毎日3限以上・2～3限・1～2限・1限未満）	児童	1学期	
			2学期	
7	平日どれくらいの時間テレビやネット動画を見たりコンピューターゲームをしたりしますか。（スマートフォン含む）「5・6年生のみ」（左から・4時間以上・3～4時間・2～3時間・1～2時間・1時間未満・全く見ない）	児童	1学期	
			2学期	
8	かめさんノートを1週間に何日ぐらいしましたか（左から 毎日・4～6日・2～3日・0～1日）	児童	1学期	
			2学期	
9	明るいあいさつが自分からできましたか	児童	1学期	
			2学期	
10	友達関係などで悩んだときに相談できる人はいますか(左から何でも たいいていのことは できないことが多い 全然ない)	児童	1学期	
			2学期	

比較結果からの考察

※「そう思う」「どちらかというと思う」を肯定的評価と判断しています。

＜児童アンケートより＞

○全体的に肯定的評価の割合が85%を超えている項目が多く、概ね良好な結果と言えます。1の「学校に行くのが楽しい」や3の「まわりの人に親切にしている」という回答は大変よい結果で、子どもたちが安心して学校生活を送っていることが分かります。その反面、2の「授業中に自分の考えをいろいろな方法で表現している」やまた、4の「自分にはよいところがある」という項目は90%を超えていません。子どもたちが自信をもって学校生活の中で自分の思いを伝えることができるように、一人一人の良さをのばす教育活動を行っていききたいと思います。

○重点項目として取り組んできた10の「友達関係などで悩んだときに相談できる人がいる」については、90%以上の児童が肯定的な評価をしています。しかし、相談できる人がいないという子もいます。この結果をふまえ、これからも全員が安心して学校生活を過ごせるよう、保護者の皆様と協力しながら子ども達を育てていきたいと思ひます。

＜保護者アンケートより＞

○今年度もコロナ禍で、学校活動や行事、PTA活動などで様々な制約がかかり、どのような形で活動ができるか模索しなければならないことが多く、保護者の皆様へのお知らせも遅くなりご心配をおかけしたと存じます。しかし、アンケートの結果からは、保護者の皆様からも、全ての項目において90%以上の方に肯定的評価をいただいております。日々本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることに心より感謝申し上げます。

○記述していただいた個別のご意見には、学校を温かく支えてくださる内容がたくさんあり、教職員一同とても励まされました。一方で、PC持ち帰りによる生活の乱れやトラブルに関する不安、不審者に対する指導、学習に対する指導に関する事等のご指摘もありました。子どもたちのよりよい成長のためには、様々な面において、今後とも学校・家庭・地域が、連携を強化していきたいと思ひます。

○来年度もコロナ対策をしながらの学校活動が多くなると思ひます。皆様のご協力を仰ぎながらより良い教育活動を行ってまいりたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

①	お子さんは、規則正しい生活をしていますか	保護者	1学期	
			2学期	
②	お子さんとコミュニケーションをとるように心がけていますか	保護者	1学期	
			2学期	
③	各種便りやホームページ等で、学校の様子がよくわかりますか	保護者	1学期	
			2学期	
④	子どもたちは落ち着いて授業に取り組んでいると思いますか	保護者	1学期	
			2学期	
⑤	学校は、事故等がないように安全に配慮していると思いますか	保護者	1学期	
			2学期	
⑥	地域の人材を積極的に活用し、児童の教育により良い効果を上げていると思いますか。	保護者	1学期	
			2学期	
⑦	学校のいろいろな教育活動に満足していますか	保護者	1学期	
			2学期	